

令和4年度業務実績報告書 修正表

公立大学法人 青森県立保健大学

ページ	見出し、小項目 No.	修正前	修正後																																												
2	(3) 教員数、非常勤講師	<p>(3) 教員数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区分</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">正職員</td> <td>教授</td> <td>35(4)</td> </tr> <tr> <td>准教授</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>講師</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>助教</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>助手</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>93(4)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">非常勤講師</td> <td>122</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>215(4)</td> </tr> </tbody> </table>	区分		R5	正職員	教授	35(4)	准教授	19	講師	13	助教	14	助手	12	計	93(4)	非常勤講師		122	合計		215(4)	<p>(3) 教員数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区分</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">正職員</td> <td>教授</td> <td>35(4)</td> </tr> <tr> <td>准教授</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>講師</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>助教</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>助手</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>93(4)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">非常勤講師</td> <td><u>180</u></td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td><u>273</u>(4)</td> </tr> </tbody> </table>	区分		R5	正職員	教授	35(4)	准教授	19	講師	13	助教	14	助手	12	計	93(4)	非常勤講師		<u>180</u>	合計		<u>273</u> (4)
区分		R5																																													
正職員	教授	35(4)																																													
	准教授	19																																													
	講師	13																																													
	助教	14																																													
	助手	12																																													
	計	93(4)																																													
非常勤講師		122																																													
合計		215(4)																																													
区分		R5																																													
正職員	教授	35(4)																																													
	准教授	19																																													
	講師	13																																													
	助教	14																																													
	助手	12																																													
	計	93(4)																																													
非常勤講師		<u>180</u>																																													
合計		<u>273</u> (4)																																													
7	(1) 業務の実施状況について	<p>3 項目別実施状況</p> <p>(1)教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置（教育）についての評価</p> <p>・・・(略)・・・</p> <p>・社会的ニーズに見合った受入体制の検証と改善における「地域の公衆衛生を担う高度人材の育成とMPHコースの周知」（小項目 No. 10）</p> <p>計画に基づいて、MPHコースのPRを積極的に進め、多くの入学生を獲得でき、教育研究活動等の関心を高め、社会的役割等を広く周知できたことから、自己評価をSとした。</p>	<p>3 項目別実施状況</p> <p>(1)教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置（教育）についての評価</p> <p>・・・(略)・・・</p> <p>・社会的ニーズに見合った受入体制の検証と改善における「地域の公衆衛生を担う高度人材の育成とMPHコースの周知」（小項目 No. 10）</p> <p>計画に基づいて、MPHコースのPRを積極的に進め、多くの<u>志願者</u>を獲得でき、教育研究活動等の関心を高め、社会的役割等を広く周知できたことから、自己評価をSとした。</p>																																												
18	【4】社会的ニーズに見合った受入体制の検証と改善口小項目 No. 10	<p>・・・(略)・・・</p> <p>令和5年度の入学生においては医師4名、歯科医師1名、薬剤師1名、理学療法士1名、看護師・保健師4名と様々な分野から多数集まったことから、上述の取組は本コースの教育研究活動等の関心を高め、社会的役割等を広く周知することに寄与した。</p>	<p>・・・(略)・・・</p> <p>令和5年度<u>入学者選抜</u>においては、<u>博士前期課程の募集人員10名のところ、志願者34名（医師、歯科医師、薬剤師、理学療法士、看護師・保健師など）となり、</u>様々な分野から多数集まったことから、上述の取組は本コースの教育研究活動等の関心を高め、社会的役割等を広く周知することに寄与した。</p>																																												

ページ	見出し、小項目 No.	修正前	修正後
18	【4】社会的ニーズに見合った受入体制の検証と改善口小項目 No. 10	(自己評価の理由) 計画に基づいて、MPHコースのPRを積極的に進め、多くの入学生を獲得でき、教育研究活動等の関心を高め、社会的役割等を広く周知できたことから、自己評価をSとした。	(自己評価の理由) 計画に基づいて、MPHコースのPRを積極的に進め、多くの <u>志願者</u> を獲得でき、教育研究活動等の関心を高め、社会的役割等を広く周知できたことから、自己評価をSとした。
22	【7】専門教育口小項目 No. 15	エ・・・(略)・・・ 卒業研究は、全員が単位を取得でき、学術集会での発表や投稿を行う学生もあり、論理的思考と研究能力を育成した。	エ・・・(略)・・・ <u>ゼミ活動や卒業研究指導を通じて、論理的思考と研究能力の育成を行った結果、全学生が卒業論文を提出し、単位認定することができた。</u>
28	【10】大学院生の教育と研究推進(博士後期課程)、小項目 No. 24	・・・(略)・・・ <数値目標達成の程度> 地域社会への具体的成果の還元件数は研究科全体で31件あった。博士後期課程では13件の報告があり、内訳は、「論文受賞」が1件、「保健・医療・福祉分野の関係機関での業務改善につながる成果の提供」が1件、「地域の人材育成につながる成果」が10件、その他が1であった。	・・・(略)・・・ <数値目標達成の程度> 地域社会への具体的成果の還元件数は研究科全体で31件あった。博士後期課程では13件の報告があり、内訳は、「論文受賞」が1件、「保健・医療・福祉分野の関係機関での業務改善につながる成果の提供」が1件、「地域の人材育成につながる成果」が10件、その他が1 <u>件</u> であった。
32	【15】学生生活支援、小項目 No. 34	ア 新入生研修は感染症対策を講じて学内開催とした。令和4年度は在大学生との交流の時間が少しでも長くとれるよう昼食をはさみ、時間を延長して実施した。新入生からの各プログラムの理解度及び新入生研修の満足度は高かった。	ア 新入生研修は感染症対策を講じて学内開催とした。令和4年度は在大学生との交流の時間が少しでも長くとれるよう昼食をはさみ、時間を延長して実施した。 <u>新入生に対して、事後アンケートを実施し、研修全体に対して「満足」との回答が99.1%であり、満足度が高かった。</u>
34	【15】学生生活支援、小項目 No. 36	オ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のための学生支援として以下の取組を行った。 ・・・(略)・・・	オ 新型コロナウイルス感染症拡大防止 <u>の</u> ための学生支援として以下の取組を行った。 ・・・(略)・・・
37	【16】キャリア支援・人材輩出、小項目 No. 39	ア・・・(略)・・・ (ウ) 採用先の獲得、卒業生との絆づくり、県内就職率の向上のため、県内事業所23件、県外事業所7件を訪問またはオンラインにより、情報交換を行った。	ア・・・(略)・・・ (ウ) 採用先の獲得、卒業生との絆づくり、県内就職率の向上のため、県内事業所23件、県外事業所7件を訪問または <u>電話</u> により、情報交換を行った。

ページ	見出し、小項目 No.	修正前	修正後
39		<p>(大項目評価)</p> <p>(1) 入学者の受入れに関する目標を達成するための措置(小項目 No. 1～10)</p> <p>・・・(略)・・・</p> <p>イ 大学院課程</p> <p>大学院生が学修や研究発表の機会を損なわないようにオンラインによる実施を積極的に推進した。学生募集においてはMPHコースの募集を中心に積極的なPRを展開した。その結果、定員を超える入学者を獲得でき、高い成果をあげることができた。</p> <p>・・・(略)・・・</p>	<p>(大項目評価)</p> <p>(1) 入学者の受入れに関する目標を達成するための措置(小項目 No. 1～10)</p> <p>・・・(略)・・・</p> <p>イ 大学院課程</p> <p>大学院生が学修や研究発表の機会を損なわないようにオンラインによる実施を積極的に推進した。学生募集においてはMPHコースの募集を中心に積極的なPRを展開した。その結果、定員を超える<u>志願者</u>を獲得でき、高い成果をあげることができた。</p> <p>・・・(略)・・・</p>
40	【17】研究実施体制、小項目 No. 41	ウ 若手教員・大学院奨励研究について、13件(うち大学院生10件)の応募があり、10件(うち大学院生8件)が採択された。応募件数、採択件数ともに、前年度を大きく上回った。	ウ 若手教員・大学院奨励研究について、13件(うち大学院生10件)の応募があり、10件(うち大学院生8件)が採択された。応募件数、採択件数ともに、前年度 <u>(応募件数、採択件数ともに5件)</u> を大きく上回った。
54	【27】職員の育成・適正な評価、小項目 No. 61	<p>県(自治研修所)が主催する職位別研修のほか、財務事務研修や研究活動推進に関する業務関連研修を実施した。</p> <p>自己研鑽のための自主研修としては、公立大学協会や産業能率大学の通信教育講座等について全職員に周知した。</p> <p>また、キャリアプランシートを活用して面談を行うことにより、職員の経験及び本人の希望、適性等を上司が把握しやすくなり、人事評価、ジョブローテーションに役立てることができた。</p>	<p>県(自治研修所)が主催する職位別研修<u>(7名参加)</u>のほか、財務事務研修<u>(3名参加)</u>や研究活動推進に関する業務関連研修<u>(1名参加)</u>を実施した。</p> <p>自己研鑽のための自主研修としては、公立大学協会や産業能率大学の通信教育講座等について全職員に周知し、<u>合計で4名が参加した</u>。</p> <p>また、キャリアプランシートを活用して面談を行うことにより、職員の経験及び本人の希望、適性等を上司が把握しやすくなり、人事評価、ジョブローテーションに役立てることができた。</p>